

第13回富士小校区防災訓練・全体 アンケート集計結果(令和5年11月12日実施)

参加者:191人(小学生以下:16人) 配布:177、回収:122(回収率:68.9%)

合計	a	b	c	d	e
(1) お住まいの地区は、どちらですか？	1丁目 33(27%)	2丁目 18(15%)	3丁目 18(15%)	4丁目 13(11%)	5丁目 17(14%)
	6丁目 23(19%)	池尻区 0(0%)	上深田区 0(0%)	その他 0(0%)	
(2) 今回の訓練には、家族何人で参加されましたか？	1人 91(75%)	2人 25(20%)	3人 5(4%)	4人以上 1(1%)	回答なし 0(0%)
(3) 防災訓練への参加状況について	ほぼ毎年参加 17(14%)	2. 3年に一度 24(20%)	初めて 70(57%)	その他 11(9%)	
(4) 災害に備えて、自宅に食料や飲料水を備えておられますか？	はい 92(75%)	いいえ 29(24%)	回答なし 1(1%)		
(5) 自宅に消火器(消火剤)を備えておられますか？	69(57%)	51(42%)	2(2%)		
(6) 自宅に火災警報器を備えておられますか？	91(75%)	29(24%)	2(2%)		
(7) 自宅の家具転倒防止策をしておられますか？	72(59%)	50(41%)	0(0%)		
(8) 自宅に感震ブレーカーを設置しておられますか？	44(36%)	77(63%)	1(1%)		
(9) 家族で災害時の連絡先や連絡方法を話し合っておられますか？	70(57%)	50(41%)	2(2%)		
(10)「災害用伝言ダイヤル(171)」について	既知・体験あり 21(17%)	既知・体験なし 77(63%)	知らない 22(18%)	回答なし 2(2%)	
(11)「ひょうご防災ネット」について	既知・登録済み 44(36%)	既知・未登録 47(39%)	知らない 23(19%)	回答なし 8(7%)	
(12) 訓練項目の評価	役に立つ	どちらとも	役に立たない	回答なし	
1) 担架組立て・搬送訓練	92(75%)	3(2%)	5(4%)	22(18%)	
2) 避難所の見学	86(70%)	9(7%)	4(3%)	23(19%)	
3) 心肺蘇生・AED訓練	93(76%)	5(4%)	3(2%)	21(17%)	
4) 感震ブレーカー展示・説明	90(74%)	8(7%)	3(2%)	21(17%)	
5) 家具転倒防止品展示・説明	89(73%)	10(8%)	2(2%)	21(17%)	
6) 防災倉庫備品展示・説明	90(74%)	7(6%)	3(2%)	22(18%)	
(13) 訓練の実施時期について	春を希望 6(5%)	夏を希望 4(3%)	秋を希望 103(84%)	冬を希望 2(2%)	回答なし 7(6%)
(14) 防災グッズ・栄養食品の配布について	継続を希望 73(60%)	どちらとも 32(26%)	不要と思う 8(7%)	回答なし 9(7%)	

(15) ご意見・要望など

- ・参加して良かった
- ・地区集合場所に集まるのは非現実的でムダ！(2)
- ・放送がこもって聞き取りにくい
- ・食品配付時「アレルギー有り」の説明が丁寧だった
- ・時間が長い
- ・三田市(?)の対応が如何にあてにならないか、役にたたない。
自分の身は自分で守るしかない事分かりました
- ・時間を短くし参加率を上げる方が効果があると思われる
(人が多いほど混乱することから)
- ・少し時間が長い
- ・訓練項目は半分にして年度替わりにし、時間を半分にすればなお良い
- ・防災講話は大事な話をされていたのに聞こえにくかった。残念です
- ・開会の挨拶などは時間が長いので、イスに座るなどのアナウンスが欲しかった
- ・開会の挨拶が長く聞き取りにくかった
- ・参加者を増やす工夫が必要
- ・車椅子で入るため、通用門の扉(白い扉)を開放して欲しい
- ・訓練の継続を今後も希望します(3)
- ・とても参考になりました
- ・参加者が少ないが継続を希望。訓練はやや専門的すぎると思う

- ・あいさつを簡潔にして欲しい
- ・スタッフのみなさま、ありがとうございます
- ・備蓄が意外と少ないと思った
- ・今後も最新情報を提供して欲しい
- ・初参加(親、3歳、1歳の3人)でしたが、子連れの対応(トイレ、おむつ替え、預かりやキッズスペースなど)がなく、今後の参加は難しく感じた
- ・途中参加したが、チラシにも途中参加OKなどの子育て世帯への配慮を望む
- ・消防車や救急車が来ると子連れで参加するきっかけになる
- ・訓練時間をもっと短くして欲しい。防災講話は長すぎます
- ・食品の配付は、三田市の備蓄食品の消費期限まじかで廃棄予定が有る時だけでOK
- ・準備や当日運営など大変だったと思います。ありがとうございました。
- ・今後、高齢化が進むので、その対策が大事になると思います。
- ・アプリのダウンロードなど最新のものも知れて良かったです
- ・AEDのリモコンの故障(電池切れ)があり、実際の作動が最後まで確認できなかった
- ・色々勉強になりました。ありがとうございました。
- ・危機感がうすいと思う
- ・避難所の階段対応(車椅子が簡単に上がれない、高齢者、他)が望まれる
- ・定期的な訓練実施・意識づけ・シミュレーションが必要

<防災会議で出された意見やコメント>

<1丁目>

- ・ハンドマイクを使用してアナウンスを行った。
- ・無事カード未掲載宅にインターホンで呼びかけたところ、77軒中36軒で応答があった。集計で無事カードが出ていない数を出すべき。インターホン押すと、忘れていたという家庭や外出により無事カードを出せない家庭もあり、データとして載せてはどうか。(無事カードを出すことが、危機感がないためか、浸透していないためか)
- ・一軒家では防災訓練の周知を拡声器でアナウンスができるが、メロディーハイムでは管理人と相談することが必要だった(放送室の管理が管理人だけのため)
(今後は防災委員会で管理人との相談を試みようと思う。)
- ・集合場所が複数あり、集計を取るのが難しかった。(小学校で集合場所を決めておくことはどうか。)
- ・要支援者(認知と、独り住まい)の方が、インターホンの呼びかけで気づき、鍵を探すも見当たらず無施錠のまま集合場所・避難所に引率されて来られた。たまたま、会長と民生委員が気づき早々に自宅にお連れしたという事例があった。

<2丁目>

- ・ハンドマイクなしでアナウンスを行った。
- ・担架、AEDの訓練が良かった。
- ・声が聞き取りにくかった。訓練の場所を増やすのはどうか。
- ・無事カードを出す意味がわからなかった(住民含め防災委員としても)

<3丁目>

- ・ハンドマイクでアナウンスを行ったが、未掲載宅へのインターホンでの呼びかけはしなかった
- ・無事カードの掲示数が39.2%と(他の丁目は70%以上)少なかった。要因としては無事カードの意味が伝わっていないことが考えられるのではないかと。また安否確認の必要性(被害状況の確認になるのはわかるが)の説明を委員会スタッフにも浸透できていないからではないか。
- ・ディアコルモは自治会員が少ないので事前周知が難しい。マンションとの関係作りが必要ではないか。
- ・集合場所が多い。また班長が訓練に参加できずに数の把握を行うには難しい面がある。

<4丁目>

- ・参加者は少なく、回覧の時にもう少し参加の呼びかけをすればよかった。来年は防災訓練参加者を増やす方法を考えておくことも必要
- ・防災訓練直前に班長会を開き、4丁目班長名で、最終回覧をしてもよかった。自分の班だけであるが、前日に各家を廻って訓練を周知した。
- ・回覧での周知を11月初めにしてみたが参加者数が少なかった。
- ・訓練当日のアナウンスはしなかった。
- ・事前に防災訓練で班長のすべき仕事の確認を班長会で事前にしたことは良かった
- ・「無事カード」は、最初未掲示でも、呼びかけで、思ったより結構対応してくれたように思う。
- ・安否確認シートは、確認作業に時間がかかると思われ、実際地震が来たときに機能するのか疑問に感じた
- ・車椅子は、小学校前の坂は押す力が必要。学校前の車道からの段差はタイヤの浮き沈みがあり結構怖さ感じた。
- ・車椅子の操作方法の練習が必要(坂道とか、ブレーキのかけ方など)。
- ・挨拶での説明の音声がききづらかった。ハンドマイクを使用するか、壇上にあがってもよかったのではないかと。
- ・AEDの講習は、調子が悪く中途半端で終わった。説明も半端感があつた。訓練用の機材でもあるが、事前に確認が必要である。
- ・担架の作り方には大いに感心した。今回は実際に乗ってもらえたが、ダミーの人形も用意してもいいのではと思う
- ・家具転倒防止、ブレーカーの遮断器、備品の展示も各自で購入し 自宅避難準備の必要制もつくづく感じた。
- ・全体的に訓練に参加できてよかった。参加することで、忘れていたことを思いだし、防災意識が出てくる。

<5丁目>

- ・アナウンスはしなかった。
- ・防災訓練の周知として、ゴミステーションに無事カード掲示のシールを出した。周知方法として良かったが、いつ行うかを加えるとなお良かった。
- ・集合場所が狭いので、全員が参加していたら大変だった。
- ・拡声器は給水車が来た時に周知するのに必要だと思う。
- ・車椅子を押して小学校に向かうのに時間がかかった。
- ・体育館で使用する靴カバーが足りてなかった。
- ・訓練内容は良かったが、説明が聞き取りにくかった。

<6丁目>

- ・アナウンスはしなかった。前日に自治会Lineでの周知を実施した。
ただ、どこのものか定かでないが防災アナウンスがかすかに聞こえた。
- ・アンケートの回収が早すぎる(実際は訓練終了後であったが、スタッフが開始早々に回収した様子)。
- ・実際に車椅子を使用して避難するのかと班長会で意見がでた。
- ・若い人が出るような訓練内容にして欲しい。また、訓練項目を多様化して、年度毎にローテーションして実施したらどうか。
- ・消防署の参加はないのか。

<その他>

- ・弥生が丘の防災訓練では、小学生は登校日になっており、訓練に参加していた。富士でも学校との調整が必要だが検討の価値はありそうです。(事務局)
- ・避難所見学で亀裂が複数箇所あった。耐震性はどうなっているのか学校に確認してほしい。
- ・参加者を自治会毎に班分けしてシフトしながらの訓練は大変良かった
- ・限られた時間の中でのスタッフの熱心な説明は大変分かり易かった
- ・高齢者の為に各ブースに椅子があれば良かったと思いました
- ・参加者はどの班も大変熱心に説明を聞いていた
- ・全ての住民が訓練に参加できるように2年毎に実施できると良い
- ・避難所の開設や役割分担等の説明も今後必要であると思う

<アンケート結果からの考察>

- ・住民を5グループに分けて20分交替のシフト制で実施した結果、ほぼ予定通りに運営できた。
- ・参加者は前回(2019年より)56名減少。一人での参加が75%と多く、初めての参加が57%であった。
- ・災害への備えでは、食料・飲料水(75%)、消火器(57%)、火災警報器(75%)、家具転倒防止(59%)、感震ブレーカー(30%)であったが、まだまだ啓発が必要。
- ・災害用伝言ダイヤルは、使用体験なしが63%、知らないが18%もあり、更なる啓発が必要。
- ・ひょうご防災ネットの登録者は36%と低く、知らないが19%もあり、更なる啓発が必要。
- ・各訓練項目では、いずれも70%以上の方から「役に立つ」と評価された。
- ・訓練時期は「秋」が84%で圧倒的で、防災グッズや栄養機能食品の配布希望は60%であった。

★総合的には、細かな反省点はあるものの訓練の満足度は高いと感じています。